第１編　工事等の概要

第１章　工事概要

１．全体工事概要

東環状大橋（仮称）建設工事

・橋長Ｌ＝１，２９１ｍ
・幅員Ｗ＝２６．３～３２．３ｍ（４車線、両側歩道）
・河川内橋脚１３基(P2～P14)、陸上橋脚１基(P1)、陸上橋台１基(A2)
・干潟部（Ｐ１～Ｐ５）橋梁形式：
　　４径間連続ケーブルイグレット鈑桁橋（５７５ｍ）
・一般部（Ｐ５～Ａ２）橋梁形式：
　　５径間連続ラーメン鈑桁橋×２（７１６ｍ）

２．工事進捗状況

工事３年次における進捗状況は、表１－１「Ｈ１７年度　東環状大橋（仮称）全体事業工程表」に示したとおりである。

３．Ｈ１７年度工事の作業内容

Ｈ１７年度工事の作業内容は、表１－２「Ｈ１７年度工事作業工程表」に示したとおりである。

工事期間は、非出水期の１１／１～５／３１に限定されており、その中でも４月と５月はシギ・チドリの渡りの最盛期なので、騒音の大きい鋼管矢板打設は禁止している。

濁水発生工程では濁水処理設備を導入しており、使用する薬品は安全性の高い無機系凝集剤を使用している。

橋脚周りの作業には、汚濁防止の確実性の高いグラブフェンスにより囲んでいる。

表1-1

H１７年度　東環状大橋（仮称）　全体事業工程表

完成　現在継続中　H18年度発注

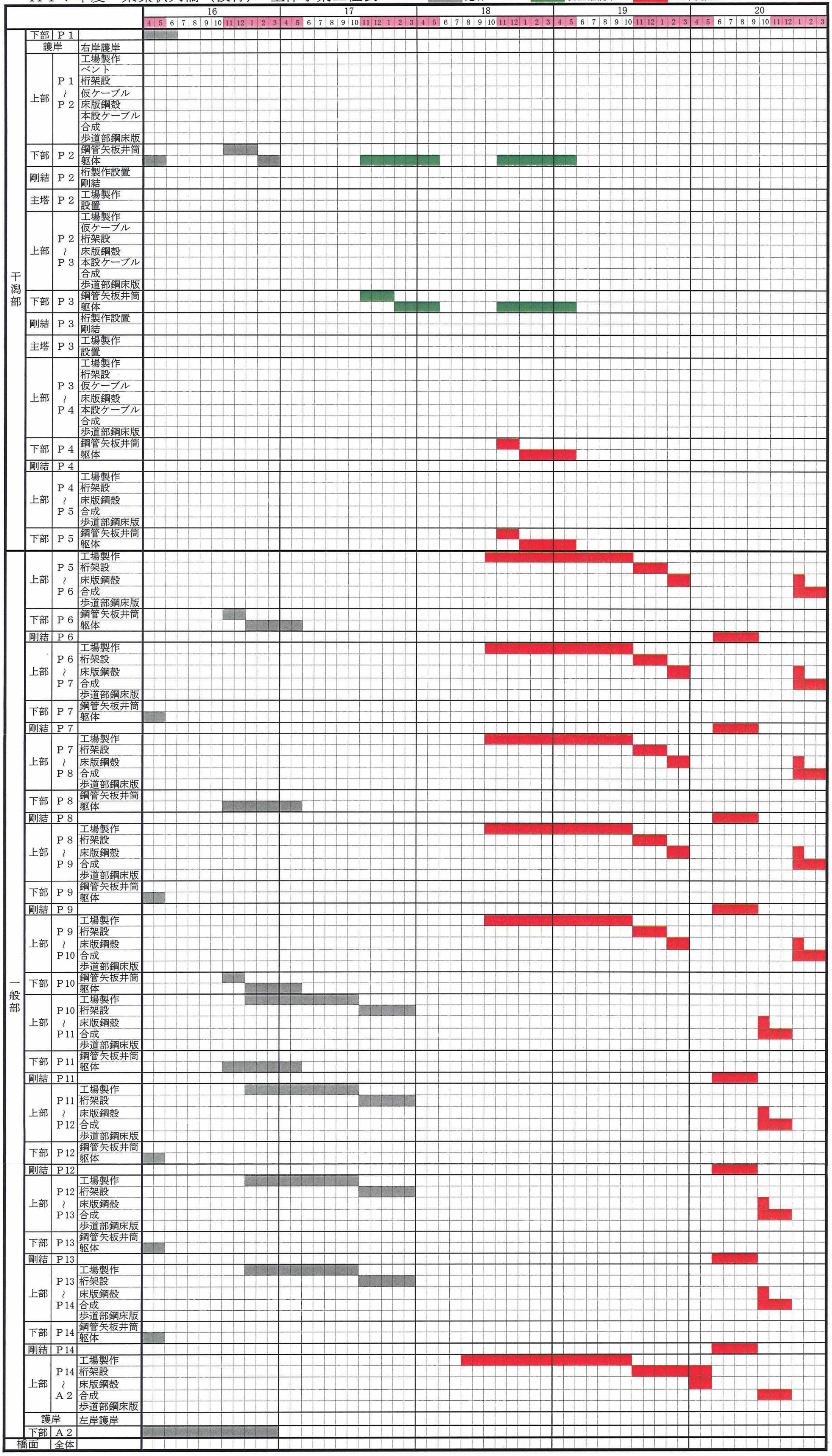

表1-2　H17年度　工事作業工程表

	工程	作業場所	内容	濁水処理	振動騒音	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
一般部	準備片付け工	P6～P14	測量台、導材設置、ﾋﾟｱ周りｸﾞﾗﾌﾞﾌｪﾝｽ	濁水発生無し	影響なし		■						■				
	躯体工	P6,P8,P10,P11	鉄筋組立、型枠設置、ｺﾝｸﾘｰﾄ打設 埋設型枠設置、鉄骨据付	濁水発生無し	影響なし	■	■										
	上部工架設	P10～P14	台船架設	濁水発生無し	影響なし									■	■		
	埋戻(井筒掘削土)	P6～P9、P13	橋脚周り洗掘対策(ｸﾞﾗﾌﾞﾌｪﾝｽ対応	ｸﾞﾗﾌﾞﾌｪﾝｽ内濁り	影響なし											■	■
	ﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ設置	P6～P10	橋脚周り根固め工	濁水発生無し	影響なし		P10			出水期のため非工事期間							■
干潟部	準備片付け工	P2、P3	ﾋﾟｱ周りｸﾞﾗﾌﾞﾌｪﾝｽ、防音壁、ｺﾝｸﾘｰ 配管桟橋	濁水発生無し	影響なし	P2							■				
	鋼管矢板打設	P3	ﾊﾞｲﾌﾞﾛﾊﾝﾏｰ、支持層への打込は油圧ﾊﾝﾏｰ	濁水発生無し	騒音大、振動小									■	■		
	継手処理	P2、P3	排土、ﾓﾙﾀﾙ打設	井筒内に溜まった泥水	影響なし									P2	P2	P2	P3
	鋼管内掘削	P3	掘削土は橋脚周り埋戻土へ流用	井筒内に溜まった泥水	影響なし											P3	
	井筒内掘削	P2	掘削土は橋脚周り埋戻土へ流用	井筒内に溜まった泥水	影響なし												P2

航路浚渫

航路浚渫	浚渫		掘削土は橋脚周り埋戻土へ流用	ｸﾞﾗﾌﾞ枠内濁り	影響なし						■	■					
	埋戻	P14	橋脚周り洗掘対策(ｸﾞﾗﾌﾞﾌｪﾝｽ対応	ｸﾞﾗﾌﾞﾌｪﾝｽ内濁り	影響なし						■	■					
	ﾌｨﾙﾀｰﾕﾆｯﾄ設置	P14	橋脚周り根固め工	ｸﾞﾗﾌﾞﾌｪﾝｽ内濁り	影響なし							■					

４．Ｈ１７年度の現場状況

Ｈ１７年度の現場状況は、写真１～写真 12 のとおりである。

写真１　左岸（川内）下流側より一般部工事区域全景（平成 17 年４月）

写真２　P11 橋脚付近より住吉側
P10 橋脚(中央)躯体コンクリート打設状況（平成 17 年４月）

写真３　右岸（住吉）干潟部工事区域全景（平成 17 年８月）

写真４　左岸（川内）側より一般部工事区域の状況（平成 17 年９月）

写真５　P14 部　埋戻状況（平成 17 年９月）

写真６　右岸（住吉）干潟部　工事区域全景（平成 17 年 11 月）

写真７　Ｐ３防音壁設置

Ｐ２構台Ｈ綱杭打設　（平成 17 年 11 月）

写真８　左岸（川内）下流側より一般部工事区域全景（平成 17 年 12 月）

写真９　P13 橋脚付近より川内側
P13～P14 鋼桁大ブロック架設状況（平成 17 年 12 月）

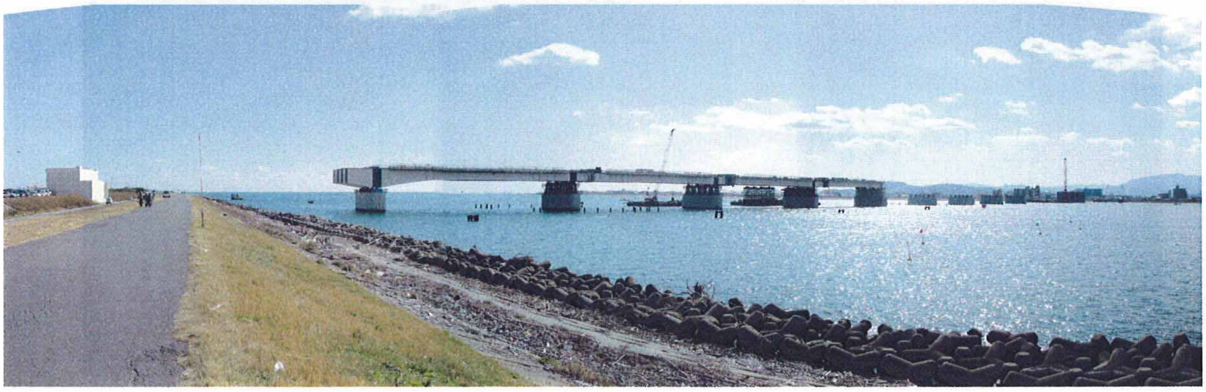

写真 10　上部工 P10～A２架設後全景（平成 18 年１月）

写真 11　Ｐ２部工事状況（平成 18 年３月）

写真 12　右岸側工事区域～河口干潟　上空より（平成 18 年４月）